

# 市民協働指針策定のための意識調査

## 集計報告書

(地域活動団体)

平成 27 年 9 月

匝 瑳 市

# 目 次

I. 調査の実施概要 .....	1
II. 調査結果.....	2
II-1. 回答者について .....	2
II-2. 活動における課題について .....	3
II-3. 市との協働について .....	4
II-4. 他の団体との協働について .....	15
II-5. その他・自由意見 .....	19
III. アンケート調査票 .....	28

# I. 調査の実施概要

---

## 1. 調査の概要

- 調査期間：平成 27 年 5 月 18 日 ～ 平成 27 年 6 月 11 日
- 調査方法：郵送配付・回収
- 配布・回収：

配布数	回収数	回収率
62 票	52 票	83.8%

## 2. 報告書のみかた

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現していません。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を 100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第 2 位以下を四捨五入し、小数点第 1 位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が 100%を超えることがあります。
- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「回答者数」が全体より少なくなる場合があります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が 100 未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- 選択肢の語句が長い場合、本文中及び図表中では省略した表現を用いる場合があります。

## II 調査結果

### II-1. 回答者について

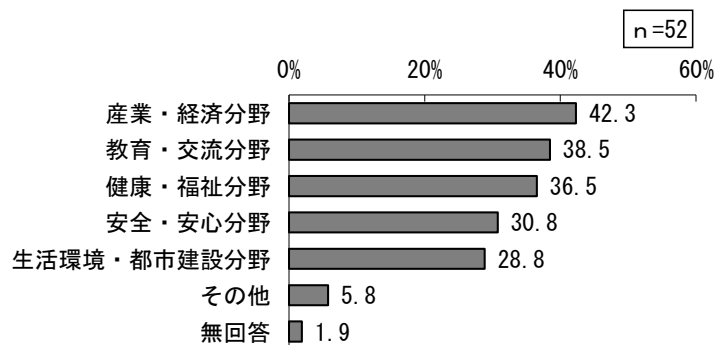
問1 貴団体について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。  
(それぞれ1つに○)

(1) 団体名 (略)

(2) メンバー・会員数 (略)

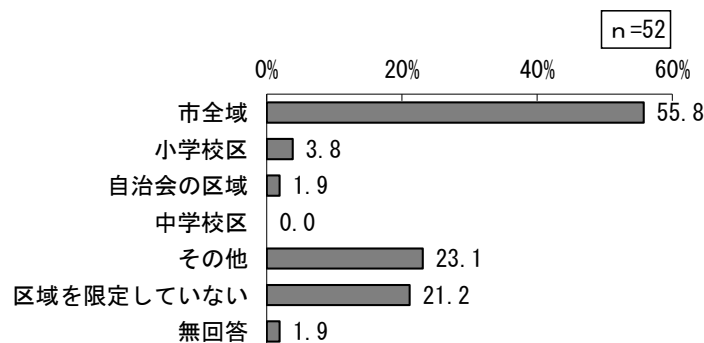
(3) 活動分野 (あてはまるものすべてに○)

- 活動分野は「産業・経済分野」42.3%が最も多く、次いで「教育・交流分野」38.5%、「健康・福祉分野」36.5%と続く。



(4) 活動範囲 (1つに○)

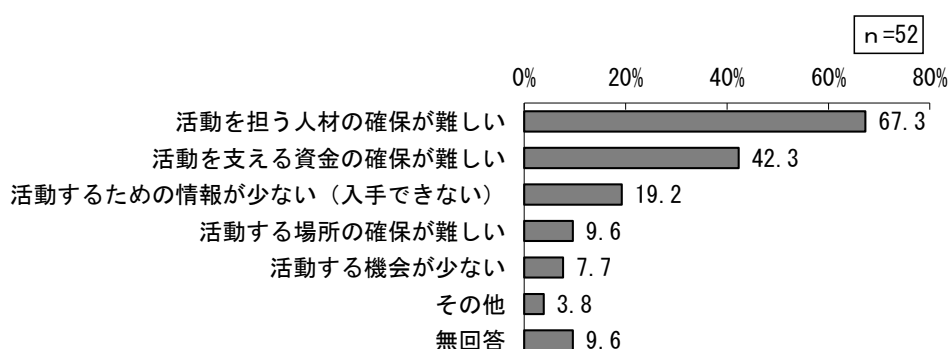
- 活動範囲は「市全域」55.8%が最も多く、次いで「その他」23.1%、「区域を限定していない」21.2%と続く。



## II-2. 活動における課題について

問2 貴団体の活動において、課題となっている事項はなんですか。（あてはまるものすべてに○）

- 団体の活動において課題となっている事は、「活動を担う人材の確保が難しい」67.3%が最も多く、次いで「活動を支える資金の確保が難しい」42.3%、「活動するための情報が少ない（入手できない）」19.2%と続く。



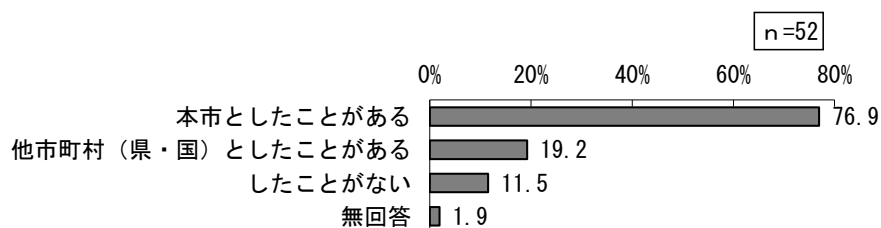
- 活動分野別にみると、特に健康・福祉分野及び教育・交流分野で「活動を担う人材の確保が難しい」の割合が高い。

	合計	活動する機会が少ない	活動を担う人材の確保が難しい	活動を支える資金の確保が難しい	活動する場所の確保が難しい	活動するための情報が少ない（入手できない）	その他	無回答
全体	52 100.0	4 7.7	35 67.3	22 42.3	5 9.6	10 19.2	2 3.8	5 9.6
健康・福祉分野	19 100.0	0 0.0	17 89.5	9 47.4	2 10.5	3 15.8	0 0.0	0 0.0
産業・経済分野	22 100.0	2 9.1	11 50.0	9 40.9	1 4.5	5 22.7	1 4.5	3 13.6
生活環境・都市建設分野	15 100.0	1 6.7	10 66.7	6 40.0	3 20.0	4 26.7	1 6.7	0 0.0
安全・安心分野	16 100.0	0 0.0	11 68.8	9 56.3	1 6.3	3 18.8	0 0.0	2 12.5
教育・交流分野	20 100.0	2 10.0	16 80.0	11 55.0	3 15.0	5 25.0	0 0.0	1 5.0
その他	3 100.0	0 0.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3

## II-3. 市との協働について

問3 貴団体では、これまで行政と協働で事業を実施したことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

- これまでに行政と協働で事業を実施したことは、「本市としたことがある」76.9%、「他市町村（県・国）としたことがある」19.2%、「したことがない」11.5%と続く。

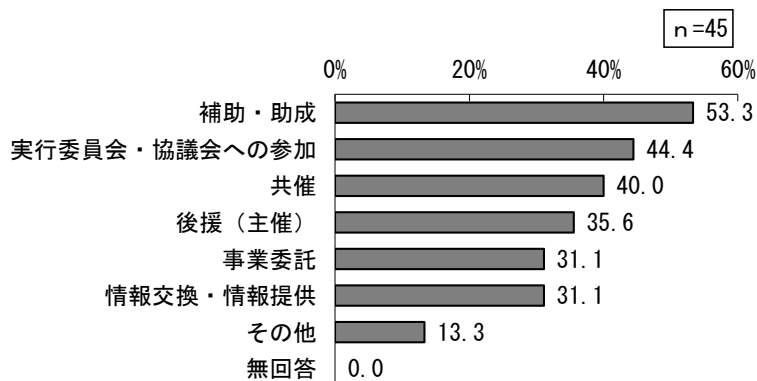


- 活動分野別にみると、産業・経済分野で「他市町村（県・国）としたことがある」の割合がやや高い。

	合計	本市としたことがある	他市町村（県・国）としたことがある	したことがない	無回答
全体	52 100.0	40 76.9	10 19.2	6 11.5	1 1.9
健康・福祉分野	19 100.0	17 89.5	2 10.5	2 10.5	0 0.0
産業・経済分野	22 100.0	16 72.7	5 22.7	3 13.6	1 4.5
生活環境・都市建設分野	15 100.0	13 86.7	2 13.3	2 13.3	0 0.0
安全・安心分野	16 100.0	15 93.8	1 6.3	1 6.3	0 0.0
教育・交流分野	20 100.0	15 75.0	3 15.0	3 15.0	0 0.0
その他	3 100.0	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0

付問 3-1 それはどのような形態ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 行政と協働で事業を実施したことがある場合の形態は、「補助・助成」53.3%が最も多く、次いで「実行委員会・協議会への参加」44.4%、「共催」40.0%と続く。

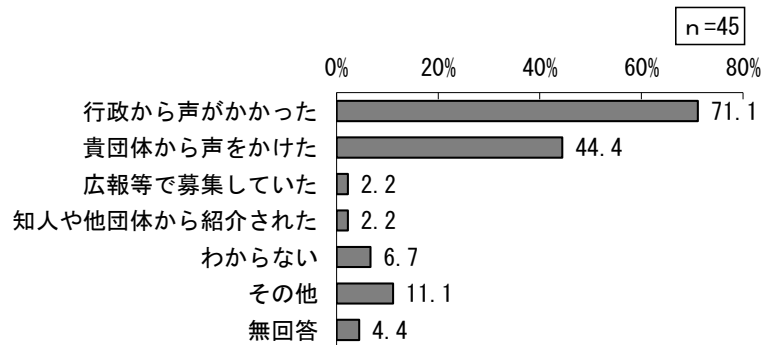


- 活動分野別にみると、特に健康・福祉分野及び安全・安心分野で補助・助成の割合が高い。また、安全・安心分野では、「実行委員会・協議会への参加」の割合が最も高いほか、「事業委託」、「後援（主催）」の割合も高くなっている。

	合計	事業委託	共催	後援（主催）	補助・助成	協議会・実行委員会への参加	情報交換・情報提供	その他	無回答
全体	45 100.0	14 31.1	18 40.0	16 35.6	24 53.3	20 44.4	14 31.1	6 13.3	0 0.0
健康・福祉分野	17 100.0	6 35.3	7 41.2	7 41.2	10 58.8	7 41.2	5 29.4	4 23.5	0 0.0
産業・経済分野	18 100.0	5 27.8	9 50.0	8 44.4	10 55.6	10 55.6	8 44.4	2 11.1	0 0.0
生活環境・都市建設分野	13 100.0	3 23.1	6 46.2	4 30.8	6 46.2	5 38.5	5 38.5	2 15.4	0 0.0
安全・安心分野	15 100.0	7 46.7	6 40.0	8 53.3	9 60.0	10 66.7	6 40.0	0 0.0	0 0.0
教育・交流分野	17 100.0	6 35.3	9 52.9	9 52.9	8 47.1	7 41.2	7 41.2	3 17.6	0 0.0
その他	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0

付問 3-2 それはどのようなきっかけでしたか。（あてはまるものすべてに○）

- 行政と協働で事業を実施したことがある場合で、そのきっかけは、「行政から声がかかった」71.1%が最も多く、次いで「貴団体から声をかけた」44.4%、「その他」11.1%と続く。



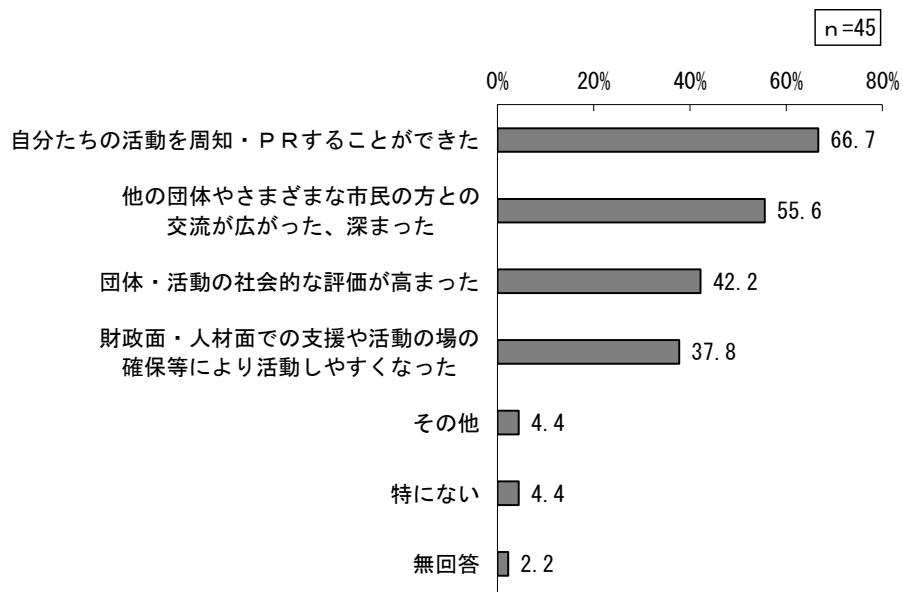
- 活動分野別にみると、特に産業・経済分野、生活環境・都市建設分野で「行政から声がかかった」の割合が高い。また、健康・福祉分野では「貴団体から声をかけた」の割合が最も高くなっている。

	合計	行政から声がかかった	貴団体から声をかけた	広報等で募集していた	知人や他団体から紹介された	わからない	その他	無回答
全体	45 100.0	32 71.1	20 44.4	1 2.2	1 2.2	3 6.7	5 11.1	2 4.4
健康・福祉分野	17 100.0	9 52.9	10 58.8	0 0.0	0 0.0	2 11.8	2 11.8	0 0.0
産業・経済分野	18 100.0	15 83.3	10 55.6	1 5.6	1 5.6	1 5.6	2 11.1	0 0.0
生活環境・都市建設分野	13 100.0	11 84.6	5 38.5	0 0.0	0 0.0	1 7.7	2 15.4	0 0.0
安全・安心分野	15 100.0	11 73.3	6 40.0	1 6.7	0 0.0	2 13.3	1 6.7	1 6.7
教育・交流分野	17 100.0	10 58.8	8 47.1	1 5.9	0 0.0	2 11.8	2 11.8	1 5.9
その他	3 100.0	3 100.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0



付問 3-3 協働してよかったと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 行政と協働で事業を実施したことがある場合で、協働してよかったと思うことは、「自分たちの活動を周知・PRすることができた」66.7%が最も多く、次いで「他の団体やさまざまな市民の方との交流が広がった、深まった」55.6%、「団体・活動の社会的な評価が高まった」42.2%と続く。

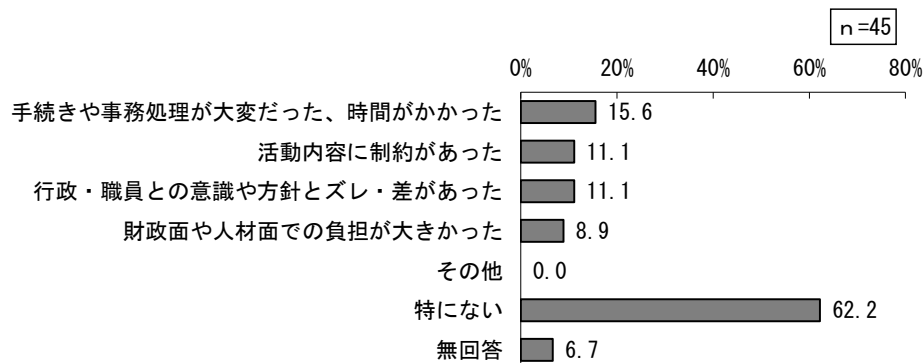


- 活動分野別にみると、特に安全・安心分野で「自分たちの活動を周知・PRすることができた」の割合が高い。また、産業・経済分野では「他の団体やさまざまな市民の方との交流が深まった」の割合が最も高くなっている。

	合計	自分たちの活動を周知・PRすることができた	財政面・人材面での支援や活動の場の確保等により活動しやすくなった	他の団体やさまざまな市民の方との交流が広がった、深まった	団体・活動の社会的な評価が高まった	その他	特にない	無回答
全体	45 100.0	30 66.7	17 37.8	25 55.6	19 42.2	2 4.4	2 4.4	1 2.2
健康・福祉分野	17 100.0	11 64.7	10 58.8	7 41.2	5 29.4	0 0.0	2 11.8	0 0.0
産業・経済分野	18 100.0	13 72.2	5 27.8	15 83.3	11 61.1	1 5.6	0 0.0	0 0.0
生活環境・都市建設分野	13 100.0	8 61.5	5 38.5	7 53.8	8 61.5	1 7.7	0 0.0	0 0.0
安全・安心分野	15 100.0	12 80.0	6 40.0	9 60.0	6 40.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7
教育・交流分野	17 100.0	10 58.8	8 47.1	11 64.7	9 52.9	1 5.9	2 11.8	0 0.0
その他	3 100.0	2 66.7	2 66.7	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

付問 3-4 協働してよくなかったと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 行政と協働で事業を実施したことがある場合で、協働してよくなかったと思うことは、「手続きや事務処理が大変だった、時間がかかった」15.6%が最も多く、次いで「活動内容に制約があった」「行政・職員との意識や方針のズレ・差があった」ともに11.1%と続く。

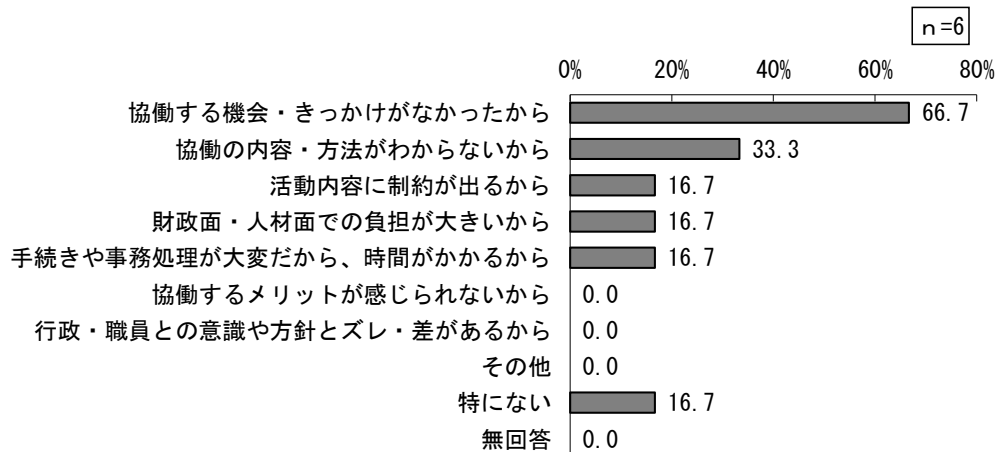


- 活動分野別にみると、生活環境・都市建設分野で「手続きや事務処理が大変だった、時間がかかった」の割合が高くなっている。

	合計	活動内容に制約があった	財政面や人材面での負担が大きかった	行政・職員との意識や方針とズレ・差があった	手続きや事務処理が大変だった、時間がかかった	その他	特にない	無回答
全体	45 100.0	5 11.1	4 8.9	5 11.1	7 15.6	0 0.0	28 62.2	3 6.7
健康・福祉分野	17 100.0	3 17.6	0 0.0	4 23.5	3 17.6	0 0.0	10 58.8	1 5.9
産業・経済分野	18 100.0	3 16.7	1 5.6	2 11.1	4 22.2	0 0.0	11 61.1	2 11.1
生活環境・都市建設分野	13 100.0	1 7.7	1 7.7	2 15.4	4 30.8	0 0.0	9 69.2	0 0.0
安全・安心分野	15 100.0	2 13.3	1 6.7	3 20.0	3 20.0	0 0.0	9 60.0	0 0.0
教育・交流分野	17 100.0	2 11.8	2 11.8	2 11.8	4 23.5	0 0.0	10 58.8	0 0.0
その他	3 100.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	2 66.7	0 0.0

付問 3-5 協働していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 行政と協働で事業を実施したことがない場合の、その理由は、「協働する機会・きっかけがなかったから」66.7%が最も多く、次いで「協働の内容・方法がわからないから」33.3%と続く。

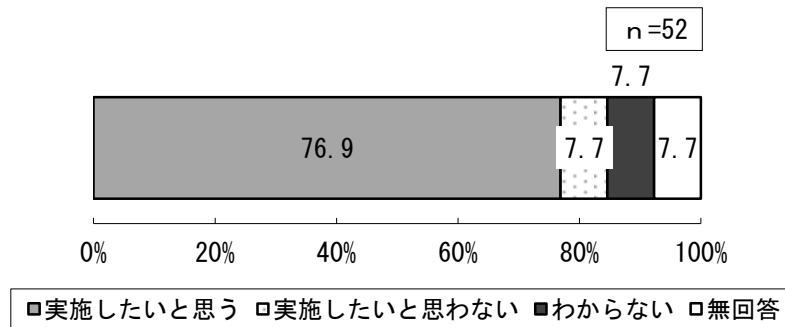


- 活動分野別のクロス集計結果は以下のとおり。

	合計	協働する機会・きっかけがなかったから	協働の内容・方法がわからないから	協働するメリットを感じられないから	活動内容に制約が出るから	財政面・人材面での負担が大きいから	行政・職員との意識や方針とズレ・差があるから	手続きや事務処理が大変だから、時間がかかるから	その他	特になし	無回答
全体	6 100.0	4 66.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0
健康・福祉分野	2 100.0	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
産業・経済分野	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0
生活環境・都市建設分野	2 100.0	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0
安全・安心分野	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
教育・交流分野	3 100.0	2 66.7	2 66.7	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

問4 今後、行政と協働で事業を実施したいと思いますか。(1つに○)

- 今後、行政と協働で事業を実施したいかは、「実施したいと思う」76.9%、「実施したいと思わない」7.7%、「わからない」7.7%。

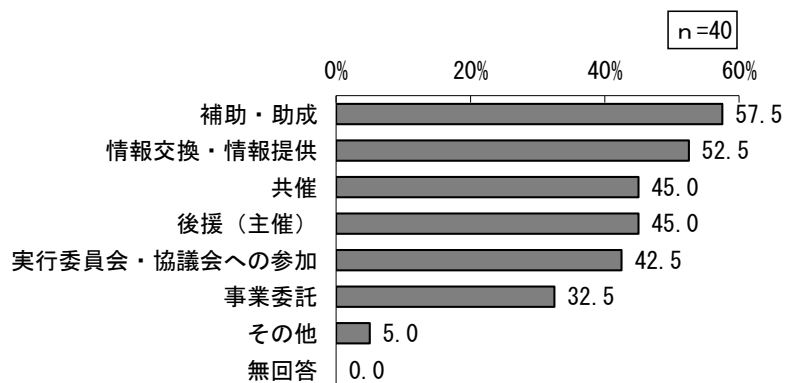


- 活動分野別のクロス集計は以下のとおり。

	合計	実施したい と思う	実施したい と思わない	わからない	無回答
全体	52 100.0	40 76.9	4 7.7	4 7.7	4 7.7
健康・福祉分野	19 100.0	16 84.2	0 0.0	2 10.5	1 5.3
産業・経済分野	22 100.0	17 77.3	2 9.1	2 9.1	1 4.5
生活環境・都市建設 分野	15 100.0	12 80.0	1 6.7	1 6.7	1 6.7
安全・安心分野	16 100.0	12 75.0	1 6.3	1 6.3	2 12.5
教育・交流分野	20 100.0	15 75.0	1 5.0	2 10.0	2 10.0
その他	3 100.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

付問 4-1 それはどのような形態ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 行政と協働で事業を実施したい場合の形態は、「補助・助成」57.5%が最も多く、次いで「情報交換・情報提供」52.5%と続く。



- 活動分野別にみると、特に産業・経済分野で「補助・助成」の割合が高い。

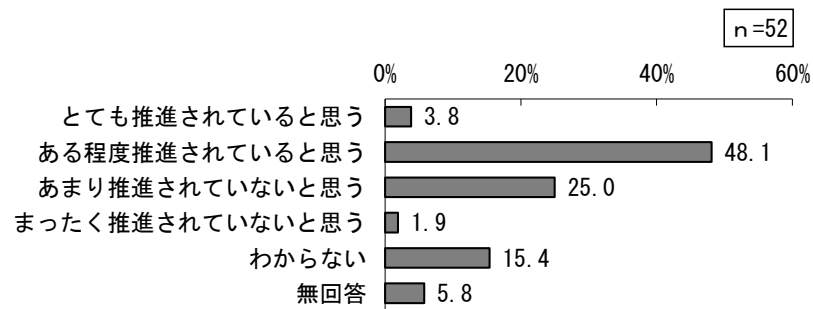
	合計	事業委託	共催	後援（主催）	補助・助成	協議会・実行委員会への参加	情報交換・情報提供	その他	無回答
全体	40 100.0	13 32.5	18 45.0	18 45.0	23 57.5	17 42.5	21 52.5	2 5.0	0 0.0
健康・福祉分野	16 100.0	6 37.5	7 43.8	6 37.5	10 62.5	7 43.8	8 50.0	0 0.0	0 0.0
産業・経済分野	17 100.0	6 35.3	8 47.1	8 47.1	12 70.6	9 52.9	10 58.8	0 0.0	0 0.0
生活環境・都市建設分野	12 100.0	4 33.3	7 58.3	3 25.0	6 50.0	4 33.3	7 58.3	0 0.0	0 0.0
安全・安心分野	12 100.0	7 58.3	5 41.7	6 50.0	8 66.7	6 50.0	8 66.7	0 0.0	0 0.0
教育・交流分野	15 100.0	6 40.0	9 60.0	9 60.0	6 40.0	8 53.3	8 53.3	0 0.0	0 0.0
その他	3 100.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	2 66.7	0 0.0

付問 4-2 どのような協働に取り組みたいと思いますか。また、どのような協働ができるかよいと思いますか。

※その他・自由意見 報告書参照

問5 匝瑳市では、協働によるまちづくりが推進されていると思いますか。（1つに○）

- 匝瑳市が協働によるまちづくりが推進されていると思うかは、「ある程度推進されていると思う」48.1%が最も多く、「あまり推進されていないと思う」25.0%、「わからない」15.4%と続く。

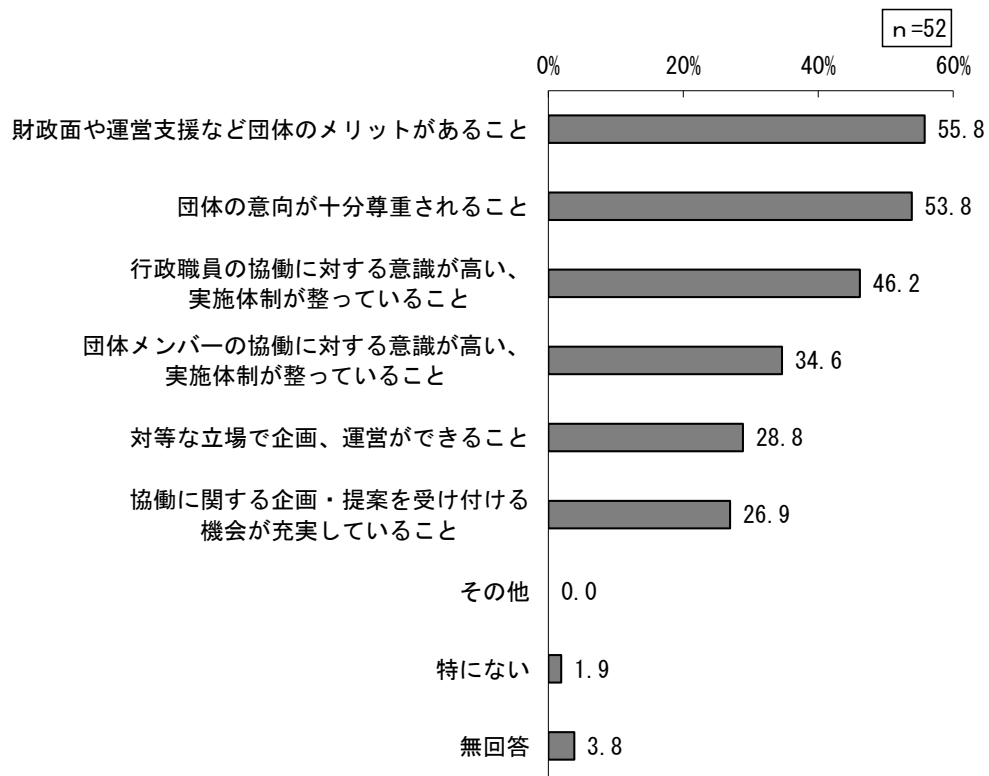


- 活動分野別にみると、特に安全・安心分野で「ある程度推進されていると思う」の割合が高くなっている。

	合計	とても推進されていると思う	ある程度推進されていると思う	あまり推進されていないと思う	まったく推進されていないと思う	わからない	無回答
全体	52 100.0	2 3.8	25 48.1	13 25.0	1 1.9	8 15.4	3 5.8
健康・福祉分野	19 100.0	1 5.3	6 31.6	7 36.8	1 5.3	4 21.1	0 0.0
産業・経済分野	22 100.0	1 4.5	8 36.4	6 27.3	0 0.0	4 18.2	3 13.6
生活環境・都市建設分野	15 100.0	0 0.0	6 40.0	5 33.3	0 0.0	3 20.0	1 6.7
安全・安心分野	16 100.0	1 6.3	9 56.3	3 18.8	0 0.0	3 18.8	0 0.0
教育・交流分野	20 100.0	1 5.0	8 40.0	6 30.0	0 0.0	5 25.0	0 0.0
その他	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0

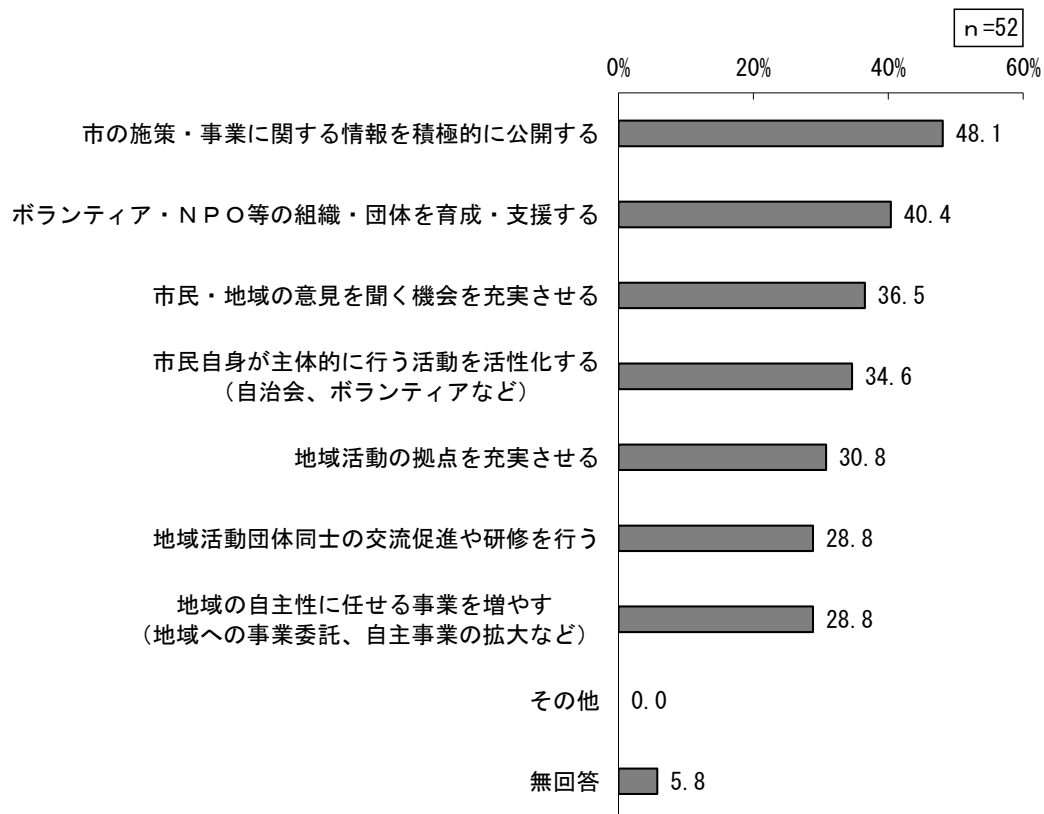
問6 地域活動団体と行政の協働を進めるためには、どのような環境・条件が重要だと思いますか。（主なもの3つまで○）

- 地域活動団体と行政の協働を進めるために重要だと思う環境・条件は、「財政面や運営支援など団体のメリットがあること」55.8%が最も多く、次いで「団体の意向が十分尊重されること」53.8%、「行政職員の協働に対する意識が高い、実施体制が整っていること」46.2%と続く。



問7 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める取組みで、何が重要と考えますか。（主なもの3つまで○）

○ 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める取組みで、重要だと考えることは、「市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する」48.1%が最も多く、次いで「ボランティア・NPO等の組織・団体を育成・支援する」40.4%、「市民・地域の意見を聞く機会を充実させる」36.5%と続く。

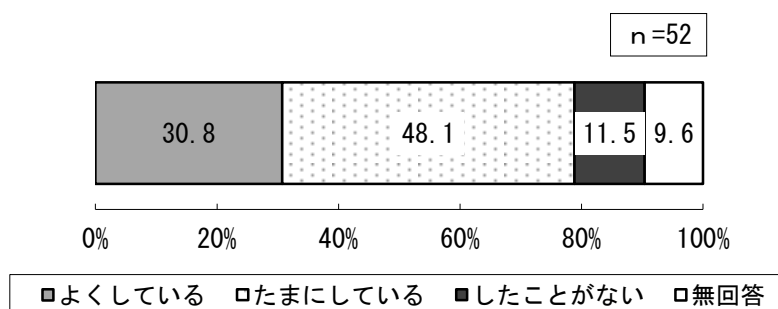




## Ⅱ-4. 他の団体との協働について

問8 貴団体では、他の団体と連携して活動したり、事業を実施していますか。  
(1つに○)

- 他団体との連携・活動・事業の実施は、「たまにしている」48.1%、「よくしている」30.8%、「したことがない」11.5%と続く。



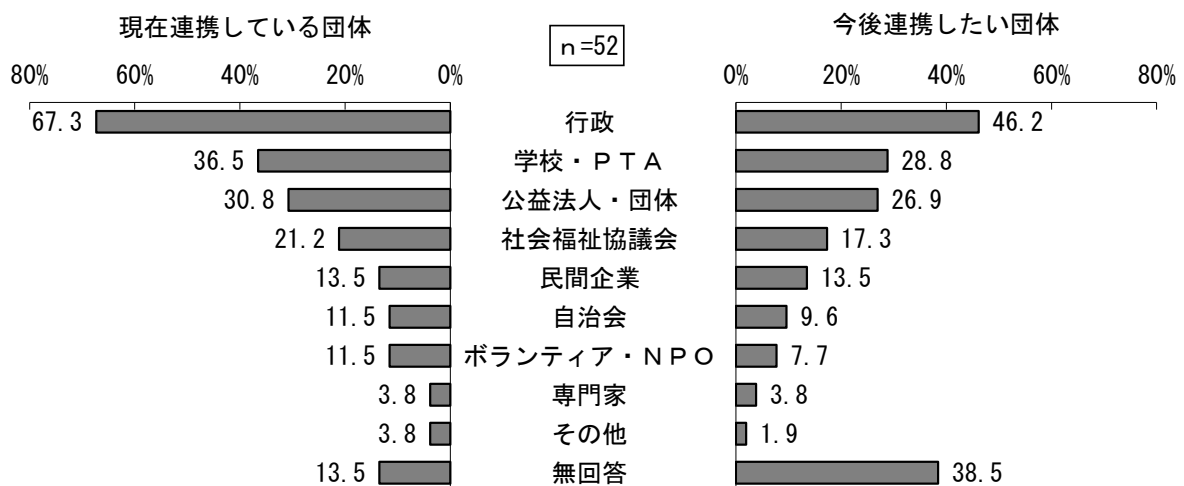
- 活動分野別にみると、産業・経済分野及び安全・安心分野で「よくしている」の割合がやや高くなっている。

	合計	よくしている	たまにしている	したことがない	無回答
全体	52 100.0	16 30.8	25 48.1	6 11.5	5 9.6
健康・福祉分野	19 100.0	3 15.8	12 63.2	2 10.5	2 10.5
産業・経済分野	22 100.0	8 36.4	11 50.0	1 4.5	2 9.1
生活環境・都市建設分野	15 100.0	5 33.3	9 60.0	1 6.7	0 0.0
安全・安心分野	16 100.0	6 37.5	8 50.0	0 0.0	2 12.5
教育・交流分野	20 100.0	3 15.0	13 65.0	3 15.0	1 5.0
その他	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0

問9 貴団体では、現在、どの団体と連携していますか。また、今後、どの団体と連携したいと考えていますか。

(現在、今後それぞれ番号に○をつけ、連携の内容を記入してください。)

- 現在連携している団体と今後の連携希望は、現在・今後ともに上位から「行政」「学校・PTA」「公益法人・団体」の順で多くなっている。(無回答は除く)



- 活動分野別にみると、現在連携している団体では、健康・福祉分野で「社会福祉協議会」の割合が他と比べて高い。
- 今後、連携したい団体では、健康・福祉分野で「学校・PTA」の割合が高くなっている。

【現在、連携している団体】

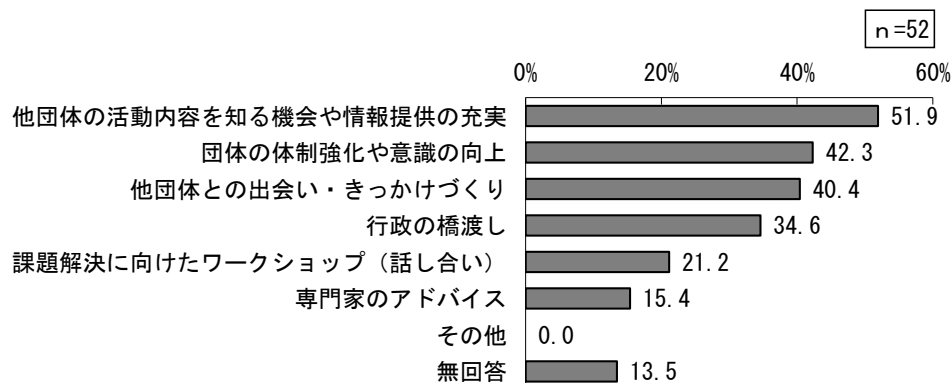
	合計	自治会	社会福祉協議会	NPOボランティア・	学校・PTA	民間企業	専門家	行政	公益法人・団体	その他	無回答
全体	52 100.0	6 11.5	11 21.2	6 11.5	19 36.5	7 13.5	2 3.8	35 67.3	16 30.8	2 3.8	7 13.5
健康・福祉分野	19 100.0	4 21.1	10 52.6	3 15.8	11 57.9	4 21.1	2 10.5	12 63.2	6 31.6	0 0.0	1 5.3
産業・経済分野	22 100.0	1 4.5	1 4.5	2 9.1	6 27.3	2 9.1	0 0.0	16 72.7	7 31.8	1 4.5	2 9.1
生活環境・都市建設分野	15 100.0	2 13.3	3 20.0	2 13.3	6 40.0	0 0.0	0 0.0	8 53.3	3 20.0	1 6.7	1 6.7
安全・安心分野	16 100.0	4 25.0	6 37.5	2 12.5	9 56.3	3 18.8	1 6.3	9 56.3	8 50.0	0 0.0	1 6.3
教育・交流分野	20 100.0	5 25.0	4 20.0	2 10.0	10 50.0	4 20.0	1 5.0	12 60.0	9 45.0	0 0.0	3 15.0
その他	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0

【今後、連携したい団体】

	合計	自治会	社会福祉協議会	NPOボランティア・	学校・PTA	民間企業	専門家	行政	公益法人・団体	その他	無回答
全体	52 100.0	5 9.6	9 17.3	4 7.7	15 28.8	7 13.5	2 3.8	24 46.2	14 26.9	1 1.9	20 38.5
健康・福祉分野	19 100.0	4 21.1	4 21.1	2 10.5	8 42.1	3 15.8	1 5.3	8 42.1	6 31.6	0 0.0	6 31.6
産業・経済分野	22 100.0	1 4.5	3 13.6	2 9.1	5 22.7	3 13.6	0 0.0	11 50.0	8 36.4	0 0.0	7 31.8
生活環境・都市建設分野	15 100.0	1 6.7	3 20.0	1 6.7	5 33.3	1 6.7	0 0.0	6 40.0	2 13.3	0 0.0	6 40.0
安全・安心分野	16 100.0	2 12.5	2 12.5	1 6.3	4 25.0	4 25.0	1 6.3	5 31.3	5 31.3	0 0.0	8 50.0
教育・交流分野	20 100.0	4 20.0	3 15.0	1 5.0	8 40.0	5 25.0	2 10.0	10 50.0	6 30.0	0 0.0	6 30.0
その他	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	2 66.7	1 33.3	0 0.0	3 100.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0

問10 団体同士の連携した活動を促進していくために、何が重要だと思いますか。  
(主なもの3つまでに○)

- 団体同士の連携した活動を促進していくために重要だと思うことは、「他団体の活動内容を知る機会や情報提供の充実」51.9%が最も多く、次いで「団体の体制強化や意識の向上」42.3%、「他団体との出会い・きっかけづくり」40.4%と続く。



問11 最後に、市民協働のまちづくりや市民協働指針の策定について、ご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください。

※その他・自由意見 報告書参照

## II-5. その他・自由意見

### (1) はじめに

問 1-(4) 活動分野
人材派遣
都市農村交流
人権啓発、人権相談、人権教室

問 1-(5) 活動範囲
市内限定エリア
受益地区内
史跡飯高檀林跡
2市1町
西部地区の田
県内
改良区受益値
県内、東京
匝瑳市近隣町村
市内及び近隣市町
匝瑳市、横芝光町、多古町

### (2) 活動における課題について

問 2 団体の活動における課題(自由記入欄)
会員の高齢化と減少
市内に118の単位シニアクラブが存在しているが、どここの地区でも概ね60歳以上の新規会員の加入が少ない中で、なおかつ各単位クラブ連合会ともに、活動の中心的な役割を担う若手の人材確保が困難な状況にある。
活動報告の連絡会議を開いているので問題はない
後継者の不足と若年層との協同活動
・会員の拠出してくれる会費に頼っている。 ・活動するのが日曜日に限定され、各種地域の活動と重なってしまう。活動日の確保が難しい。
児童生徒への読書普及活動の推進や企画展示、そしてサービスの充実に人材確保ができない。
活動は(キャンペーン等)は、理事らが行っていますが、予定しても、道路交通法についての認識が低く、仕事先で、どうしても参加者に偏りがでる。
ボランティアフェスタにもっと多くの市民に参加してほしいが、資金が限られているため限界がある。 (市の助成金等検討していただくとありがたい)
・20～40歳までの年齢制限のため。

問 2 団体の活動における課題(自由記入欄)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費を会費からまかなっているため。</li> <li>・市内公共施設が 21 時で閉館になってしまう。</li> </ul>

### (3) 市との協働について

付問 3-1 行政と協働で事業を実施した際の形態
農業まつり
農業まつり
広報活動利用の働きかけ。
1 ブース担当
農業まつりへの参加

付問 3-2 協働したきっかけ
設立当初から
委員会連絡会議で決定
他団体からの要請等
年内事業内
教育委員会の主催によるもの。

付問 3-3 協働してよかったと思うこと
農業振興に役立った。
生涯学習に関する知識の習得

付問 3-3 協働してよかったこと(自由記入欄)
市からの助成金を材料費に充当することができたので良かった。
市からの助成金を活用できたのが良かった。農業まつりに参加できることで、自分たちの役割を認識し、楽しく活動することができた。
シニアクラブ活動の一つとして、健康教室や料理教室を開催する際には、普段から顔見知りの職員に講師として依頼できるので、会員が気軽に参加できる。
前身は食生活改善協議会として活動していましたが、今は健康づくりという面も含まれる活動をしています。行政とともに活動していますので、八日市場市の時代から長く続いています。
活動支援で少しでも役立つことが出来れば。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、生徒の参加が見込まれるので、教育委員会と共催。</li> <li>・市民体育大会は共催となるが、教育委員会からの支援はない、必要としない。</li> </ul>
協働することにおいて、仲間ができる。
運営委員会、フェスタ実行委員会等にもう少し積極的に参加してほしい。

付問 3-4 協働してよくなかったと思うこと
意見なし

付問 3-4 協働してよくなかったと思うこと(自由記入欄)
行政担当者が異動になった時、引継ぎが不十分で、対応が困ることが多い。
具体例は 5 例あります。
・2 月に総務課の職員と電話で議論した中で(協働について議論した)。
・高齢者支援課の職員との議論の中で。
仕方がないので、一応参加するといった雰囲気だった。(消極的参加)

付問 3-5 協働していない理由
市職員との状況把握ができるので。

付問 3-5 協働していない理由(自由記入欄)
意見なし

付問 4-1 協働で事業を実施したい形態
派遣事業、請負
農業まつりへの参加

付問 4-2 どのような協働に取り組みたい、協働ができるとよい、と思うか(自由記入欄)
障害者機能訓練や外出支援
地域農業の活性化や伝統料理の継承。
市役所各課における専門知識を有する職員に出向いていただき、高齢者向けの各種講座を開催したい。
障がい者たちのライフスタイルが確立したら良いと思います。障がいの軽度、重度の人たちでも地域で生活できるように様々な社会資源ができれば良いと思います。
匝瑳市を県内外に PR できる事業や広報活動。
不法投棄は大部分がゴミの問題ですが、処理や処分について職員と共同で行ったほうがより認知度状況の内容が分かる。
地域農業振興に対する基本方針と具体的な実践計画について
発注者である市(派遣元)の指揮命令下で職員との混在作業による臨時的、短期的な就業が伴う高齢者事業の実施。例えば、JT 跡地に観光案内所や物産品展示、販売等を行う際に市との協働による事業が考えられる。(派遣事業)
少子高齢化社会に向け、地域包括ケア、多職種連携に協働。市民病院の問題(医師、看護師不足)に対して、行政に協働。
災害救助、応援等
現状でよい。
現在、行政の力添えでいろいろな活動や研修会が出来ているので、今後も行政と一緒に活動して

付問 4-2 どのような協働に取り組みたい、協働ができるとよい、と思うか(自由記入欄)
いきたいと思います。
①図書館だよりを3か月に1回発行、回覧文書として区長⇒組長へと配布する。
②主催事業への連携・協力
地域の祭りや広報活動を一緒に行う。
PTA 活動に企業も参加して、活動の範囲を広げたいと思います。
空き家情報、転入者支援、地元支援(例えば都市部の若者への理解など)
行政主導ではない、市民が主体的に取り組めるもの。
アンケートで調査する項目としては不適である。会議を実施して検討すべきである。
ボランティア活動
行政が主役になるのは好ましくないし、できないと思うが、行政の考えや情報が制約をオープンにし、市民の理解を得ながら、適切な支援をすることが望まれる。(行政マンとしてではなく、一市民としての立場をとることができるか。)
口腔がん検診
商工会で話題になりました。婚活、活動一緒に取り組みましょう。

問 6 地域活動団体と行政の協働を進めるために重要だと思う環境・条件
意見なし

問 6 地域活動団体と行政の協働を進めるために重要だと思う環境・条件(自由記入欄)
他の活動団体の活動状況がわからず、交流の場があっても良いのではないかと。但し、情報が多くの人達で共有すること、部外に流れることも考慮が必要となる。
ともすれば行政が主体となって運営されている団体があるが、そういった団体の意識改革は不可欠だ。その構成員はもっと積極的に行動しなければならない。

問 7 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進めるために重要だと思う取組み
意見なし

問 7 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進めるために重要だと思う取組み(自由記入欄)
高齢者にとって、「〇〇計画」など、文字がぎっしり書かれた文書を見てもなかなか理解することが難しい。高齢者でも取り組めるような事業については、各地区役員会等の機会に直接説明していただく、「協働」の認識レベルが上がるのではないかとと思われる。
認知症対策(オレンジプラン)で市民ボランティア(民間企業含む)育成は、急務と思われる。
地域の自主性に任せる事業が少ない。ふれあい祭り、チューリップ祭り、植木祭りくらい。
団体が実施していても、防災行政無線の広報は、市役所の関係課が実施しているように聞こえる。団体の自主性を尊重すべきでは。団体名を広報文に入れるべきである。
各種団体、組合、サークルの事務所、事務局を一か所に集約できる施設ができれば、連帯感が生まれ、情報交換もできる。(新しく建設するのであれば、JT跡地が最適だと思う。)
各団体とも、自分の行事を消化するのが目いっぱい面があるかと思いますが、机上の、パソコン



問 7 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進めるために重要だと思ふ取組み(自由記入欄)
ンの論より肌で感じる、生きた活動を望んでいます。

#### (4) 他の団体との協働について

問 9-9 連携したい先【その他】
行政相談員

問 9-1 連携している(したい)内容 【自治会】
祭礼等の警備等
3か月に1回発行する、広報活動
文化会だよりの発行、回覧。
地域振興の事業に参加している。
よかっぺ祭、のさかふれあい祭
自治会、シニアクラブ等、地域の団体を巻き込んでいきたい。

問 9-2 連携している(したい)内容 【社会福祉協議会】
匝瑳市シニアクラブ連合会専任事務職員の配置
社協へ役員を送り、社協の事業に参加し協力している。
ボランティア連絡協議会
在宅ケアフォーラム、介護保険事業
メンバーとして
・独占老人弁当づくり
・サテライトサービス
ボランティアへの参加。
・安心生活創造事業
・高齢者への支援活動
活動の母体になっており、専従のスタッフがおり、フェスタでは多くのスタッフの支援・協力を得ている。
地区社会福祉協議会と。

問 9-3 連携している(したい)内容 【ボランティア・NPO】
送迎ボランティア、介助
ボランティアフェスタへの参加・協力。
NPO 法人ちば里山センター(情報の交換)
NPO 法人 SOSA・PROJECT(活動の相互支援)
建築無料相談、農業祭り
若者就職サポートセンターとの協力関係を強化したい。

問 9-4 連携している(したい)内容 【学校・PTA】
椿海小、須賀小への食育活動、保育園へ手作り味噌の贈呈(椿海、須賀、平和、共興)
・小学生とのグラウンドゴルフ交流大会 ・小学生登下校の見守り
地域振興事業として親子で遊ぼう会など、子ども達とのふれあい、また防犯パトロールなど。
特別支援学校
講演会(学生向け)
学校に通学している親の中から、自分たちの団体メンバーが出ているため、先生、PTAの方々との関係、信頼、を更に深めたい。
学校保健
緑の少年団(檀林清掃活動)
小学生に田植体験
下校時の見守り等
・家庭教育学級(各地区学校) ・食育(中学校区)
・創造運動への参加 ・子供絵画展への出店
PTA 組織に位置づけられている。
役員として参加協力いただいている。
PTA 活動
活動への参加・啓発。
中高生の参加を促進したい。
人権教室の実施(児童・生徒対象)
歯科検診、講話

問 9-5 連携している(したい)内容 【民間企業】
・高齢者食生活改善料理教室 ・高齢者健康教室
地域産業保健センター相談医、産業医派遣
役員として参加協力いただいている。
PTA 活動の参加
活動への参加及び補助。
企業に資金協力をお願いして、多くの企業から賛同を得ている。
市場まつり、よかっぺ祭等で販売、踊り。

問 9-6 連携している(したい)内容 【専門家】
・高齢者食生活改善料理教室 ・高齢者健康教室

問 9-7 連携している(したい)内容 【行政】
農業活性化フォーラムへの参加、講演会の参加
農業活性化フォーラムへの参加、講演会への参加
・高齢者交通安全教室 ・高齢者事故防止街頭キャンペーン
自主防災の区民への指導、周知、実施、ゴミゼロの周知実施。
委託事業
土地改良事業
今までと同じが、今まで以上の関係、信頼を深めたい。
・特定健診(乳幼児検診、予防接種、休日当直医、介護保険) ・よかっぺ祭参加 ・在宅ケアフォーラム
ゴミゼロ運動、防災訓練
施設整備の促進
新緑祭、檀林コンサート
各種消防行事
関連事業への共同支援
委託事業等
健康管理課の活動への参加(離乳食、ワンパククッキング、健康まつり他)
・施設の更新・整備に対する助成 ・営農に対する補助
利用者の拡大
文化祭の開催、生涯学習祭りの開催。
企画への事務委託。
市の助成。
イベント等の協力、広報等財政的な補助。
福祉課高齢者支援課と連携し、高齢者への支援活動をしている。
福祉課との連携を強化したい。(担当者の会議出席等)
人権活動実施に伴う連携(市・法務局)
・1.6歳、2歳、3歳児検診 ・成人歯科健診 ・無料歯科相談
市場まつり、よかっぺ祭等で販売、踊り。

問 9-8 連携している(したい)内容 【公益法人・団体】
青少年育成協議会の事業についての協議
一般市民向け講演会
各種委員会等への委員の推薦、日本医師会、千葉医師会の事業協力。
共用施設の維持管理等

問 9-8 連携している(したい)内容 【公益法人・団体】
・農地中間管理機構と連携し、耕作放棄地対策
のさかスポーツクラブ広報、野菜文化会だより、図書館だよりの発送
行事への参加・協力。
交通安全協会を中心にキャンペーンを実施。
各種の補助、助成。
イベント等の協力。
関連団体との連携を模索したい。
商工青年部、倫理法人会、ロータリークラブ、国際交流協会
在宅ケアフォーラム

問 9-9 連携している(したい)内容 【その他】
吉田西部環境保全会
人権・行政合同相談の実施

問 10 団体同士の連携した活動を促進していくために必要なこと
意見なし

問 10 団体同士の連携した活動を促進していくために必要なこと(自由記入欄)
環境問題との関わり合いなので、環境審議会との交流、意見交換等があっても良い。法律問題も関係する。警察の生活安全課との交流も必要かと。
アンケートで調査する項目としては不適である。会議を実施して検討すべきである。
住みよい、暮らしやすい匝瑳市をつくるためには、助け合い、支え合うボランティア活動が重要だと思う。同じような活動をしている個人、団体と企業連携して、活動の輪をもっと広げていきたい。
市長さんを囲んでの座談会方式で、各団体が一同で話し合えたらいいかしら。

問 11 市民協働のまちづくりや市民協働指針の策定に関するご意見・ご提案
どの市町村でも問題は似たようなことが多いと思います。その中でも問題を解決し活性化している市町村はあります。様々なケースを取り上げ、真似でも良いので、暮らしやすいまちづくりを進めてほしいと思います。
・匝瑳市内各団体が一同に集まれる場所又は会館ができれば良いと思う。 例：各団体の事務所、会場、会議等に使用 (仮称)匝瑳クラブ
・野菜役場の空き部屋を開放してほしい。
市が行おうとする内容について、広報、各活動団体で情報の共有する場が作れないか。
大規模災害発生時の緊密な情報交換が重要と思われる。
ボランティアの育成と受入れ体制の確立。
現在、健康づくりということで推進員の活動を行っていますが、社会福祉協議会や福祉課のいろいろな会議に参加することが多くありますが、参加するのみで意見・提案とまではいきません。保健推

問 11 市民協働のまちづくりや市民協働指針の策定に関するご意見・ご提案
進員は今年 228 名と大勢を抱え活動をしていますので、他の協議会にも内容を知ってもらえる機会があればうれしいと思います。
各地区には、活動を担う人材はあるので、活動するための情報を多く提供すべき。
各地区には、活動を担う人材はまだまだいる。活動するための情報を増やすこと。
地方自治、補助金の関係等、色々あるでしょうが、権利ばかり主張する人がでてきやすくなるので、あまり力を入れない方が良く。やりたい方は既に自主に活動しています。ただ、要請があるときは、協力して。
年 3 回くらいの交流の場を全団体等で持ち(うち1回くらいは飲食を伴い)匠瑛市は一つという和を高めていく工夫が必要ではないか。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の継続的な取り組み支援</li> <li>・行政の窓口の一本化とフォロー</li> <li>・広報支援</li> </ul>
<p>①このような策定の計画があったのであれば、1/20 の講演会に、市役所職員の参加を働きかけるべきであった。</p> <p>②広報 2 月「NO51 市民協働推進に向けて」を読んでいない職員が多い。(何人かの人との議論の中で読んでいないことを把握した。)</p> <p>③このアンケートをやる前に、協働に関する市役所職員の意識調査をした方が良くと思う。</p>
<p>市民協働のまちづくりを推進するためには、市民、行政、企業、各種団体の意識改革が絶対条件だと思う。各々が個別で活動してはいるが、点でしかない。これを線から面としてとらえ、バラバラなものを一つにまとめることが必要。(場づくり)「匠瑛市民協働推進会議(協議会)」(仮)を創設し、市内のあらゆる団体を網羅した場づくりを早急に創設したい。</p> <p>※会議は小委員会をいくつか作る事が必要。(テーマごとにする)</p> <p>※市民の意識醸成に欠かせない、広報・広聴が大事。</p> <p>※インターネットを使っの若年層の参加も欠かせない。</p>
市職員もいろんな団体へ出向してみると面白い経験ができると思います。
勝手な意見ですが、“協働”の意味をしっかりと認識し、別行動ではなく、共働、となるよう、行政、商工会、JA、生産者、消費者が一つの方向を向いて助け合うと大きな事ができるかしら。周辺市町に追い越されないよう、活気あるまちづくりを願っています。様々でなく、一つの目標に力を。

### Ⅲ アンケート調査票

---

～市民と行政が協働し、市民が主役のまちをつくるために～

---

## 匝瑳市 市民協働指針 策定のための 地域活動団体意識調査

---

### ご協力のお願い

日頃から市政に対し格別のご協力を頂き厚くお礼申し上げます。

匝瑳市では、市の最上位計画である総合計画の基本目標の一つ「市民と行政が協働し、市民が主役のまちをつくる」の実現に向け、協働のまちづくりを推進するためのガイドラインとなる「匝瑳市市民協働指針」の策定を進めています。

本調査は、指針の策定にあたり、地域で活動している各種団体の方にご意見をお聞かせ願いたく実施するものです。

皆様からの回答はすべて統計的に処理し、目的以外に使用することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、今後のまちづくりを皆様とともに考えていきたいと思っておりますので、調査の目的をご理解のうえ、率直なご意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

平成27年5月

匝瑳市長 太田 安規

### ～協働ってなに？～

※「協働とは、市民、地域活動団体、企業・事業所、関係機関、行政などが、様々な目的を共有しながら連携することによって、地域内外の諸資源（人・金・もの・情報など）をできるだけ幅広く活かしていくまちづくりを進めることです」

**[記入上の注意]** \_\_\_\_\_

- 1 回答は、設問ごとに（1つに○）、（2つまで○）など、それぞれ指定されていますので、各設問の回答方法に従って回答してください。

○は、番号を囲むように濃くつけてください。（例 ①）

- 2 ご記入いただいた調査票を6月11日（木）までに返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストへご投函ください。
- 3 調査票についてのお問い合わせは、下記をお願いします。

匝瑳市役所 企画課 企画調整班

電話：0479-73-0081      FAX：0479-72-1114

E-mail：k-kikaku@city.sosa.lg.jp

## はじめに

問1 貴団体について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号を選んでください。  
(それぞれ1つに○)

(1) 団体名	
(2) メンバー・会員数	_____ 人
(3) 活動分野  (あてはまるものすべてに○)	<p>1 健康・福祉分野 (健康づくり、高齢者・障害者・子育て支援など)</p> <p>2 産業・経済分野 (農業振興、商店街活性化、観光振興など)</p> <p>3 生活環境・都市建設分野 (自然環境保護、リサイクル、緑化・美化、街並整備など)</p> <p>4 安全・安心分野 (防災、防犯、交通安全活動など)</p> <p>5 教育・交流分野 (生涯学習・スポーツ、学校支援、祭り・伝統文化など)</p> <p>6 その他 ( )</p>
(4) 活動範囲  (1つに○)	<p>1 自治会の区域</p> <p>2 小学校区</p> <p>3 中学校区</p> <p>4 市全域</p> <p>5 その他 ( )</p> <p>6 区域を限定していない</p>



## 活動における課題について

問2 貴団体の活動において、課題となっている事項はなんですか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 活動する機会が少ない
- 2 活動を担う人材の確保が難しい
- 3 活動を支える資金の確保が難しい
- 4 活動する場所の確保が難しい
- 5 活動するための情報が少ない (入手できない)
- 6 その他

(自由記入欄)

## 市との協働について

問3 貴団体では、これまで行政と協働で事業を実施したことはありますか。  
(あてはまるものすべてに○)

- 1 本市としたことがある →付問 3-1~3-4 もご回答ください
- 2 他市町村 (県・国) としたことがある →付問 3-1~3-4 もご回答ください
- 3 したことがない →付問 3-5 もご回答ください

付問3-1 それはどのような形態ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 事業委託
- 2 共催
- 3 後援 (主催)
- 4 補助・助成
- 5 実行委員会・協議会への参加
- 6 情報交換・情報提供
- 7 その他 ( )

付問3-2 それほどのようなきっかけでしたか。（あてはまるものすべてに○）

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1 行政から声がかかった | 2 貴団体から声をかけた    |
| 3 広報等で募集していた | 4 知人や他団体から紹介された |
| 5 わからない      | 6 その他           |

付問3-3 協働してよかったと思うことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1 自分たちの活動を周知・PRすることができた            |
| 2 財政面・人材面での支援や活動の場の確保等により活動しやすくなった |
| 3 他の団体やさまざまな市民の方との交流が広がった、深まった     |
| 4 団体・活動の社会的な評価が高まった                |
| 5 その他（<br>）                        |
| 6 特にない                             |

（自由記入欄）

付問3-4 協働してよくなかったと思うことは何ですか。

（あてはまるものすべてに○）

- |                          |
|--------------------------|
| 1 活動内容に制約があった            |
| 2 財政面や人材面での負担が大きかった      |
| 3 行政・職員との意識や方針とズレ・差があった  |
| 4 手続きや事務処理が大変だった、時間がかかった |
| 5 その他（<br>）              |
| 6 特にない                   |

（自由記入欄）

付問3-5 協働していない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |   |
|---|---|
| 1 | 協働する機会・きっかけがなかったから                        |
| 2 | 協働の内容・方法がわからないから                          |
| 3 | 協働するメリットが感じられないから                         |
| 4 | 活動内容に制約が出るから                              |
| 5 | 財政面・人材面での負担が大きいから                         |
| 6 | 行政・職員との意識や方針とズレ・差があるから                    |
| 7 | 手続きや事務処理が大変だから、時間がかかるから                   |
| 8 | その他（ <span style="float: right;">)</span> |
| 9 | 特になし                                      |

（自由記入欄）

問4 今後、行政と協働で事業を実施したいと思いませんか。（1つに○）

- |   |            |                     |
|---|------------|---------------------|
| 1 | 実施したいと思う   | →問 4-1、4-2 もご回答ください |
| 2 | 実施したいと思わない | →問 5 へ              |
| 3 | わからない      |                     |

付問4-1 それはどのような形態ですか。（あてはまるものすべてに○）

- |   |   |   |           |
|---|---|---|-----------|
| 1 | 事業委託                                      | 2 | 共催        |
| 3 | 後援（主催）                                    | 4 | 補助・助成     |
| 5 | 実行委員会・協議会への参加                             | 6 | 情報交換・情報提供 |
| 7 | その他（ <span style="float: right;">)</span> |   |           |

付問4-2 どのような協働に取り組みたいと思いませんか。また、どのような協働ができるとういと思いませんか。

（自由記入欄）

問5 匝瑳市では、協働によるまちづくりが推進されていると思いますか。(1つに○)

- |                  |                   |
|------------------|-------------------|
| 1 とても推進されていると思う  | 2 ある程度推進されていると思う  |
| 3 あまり推進されていないと思う | 4 まったく推進されていないと思う |
| 5 わからない          |                   |

問6 地域活動団体と行政の協働を進めるためには、どのような環境・条件が重要だと思いますか。(主なもの3つまで○)

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1 団体の意向が十分尊重されること                 |
| 2 対等な立場で企画、運営ができること               |
| 3 行政職員の協働に対する意識が高い、実施体制が整っていること   |
| 4 団体メンバーの協働に対する意識が高い、実施体制が整っていること |
| 5 協働に関する企画・提案を受け付ける機会が充実していること    |
| 6 財政面や運営支援など団体のメリットがあること          |
| 7 その他 ( )                         |
| 8 特にない                            |

(自由記入欄)

問7 市民と行政が力を合わせてまちづくりを進める取組みで、何が重要と考えますか。(主なもの3つまで○)

- |  |
|--|
| 1 地域活動の拠点を充実させる                        |
| 2 地域活動団体同士の交流促進や研修を行う                  |
| 3 市の施策・事業に関する情報を積極的に公開する               |
| 4 市民・地域の意見を聞く機会を充実させる                  |
| 5 地域の自主性に任せる事業を増やす(地域への事業委託、自主事業の拡大など) |
| 6 市民自身が主体的に行う活動を活性化する(自治会、ボランティアなど)    |
| 7 ボランティア・NPO等の組織・団体を育成・支援する            |
| 8 その他 ( )                              |

(自由記入欄)

## 他の団体との協働について

問8 貴団体では、他の団体と連携して活動したり、事業を実施していますか。  
(1つに○)

1 よくしている	2 たまにしている	3 したことがない
----------	-----------	-----------

問9 貴団体では、現在、どの団体と連携していますか。また、今後、どの団体と連携したいと考えていますか。

(現在、今後それぞれ番号に○をつけ、連携の内容を記入してください。)

	現在	今後	連携している(したい)内容
自治会	1	1	
社会福祉協議会	2	2	
ボランティア・NPO	3	3	
学校・PTA	4	4	
民間企業	5	5	
専門家	6	6	
行政	7	7	
公益法人・団体	8	8	
その他 ( )	9	9	

問10 団体同士の連携した活動を促進していくために、何が必要だと思いますか。  
(主なものを3つまでに○)

- |   |
|---|
| 1 他団体との出会い・きっかけづくり                          |
| 2 他団体の活動内容を知る機会や情報提供の充実                     |
| 3 課題解決に向けたワークショップ（話し合い）                     |
| 4 行政の橋渡し                                    |
| 5 専門家のアドバイス                                 |
| 6 団体の体制強化や意識の向上                             |
| 7 その他（ <span style="float: right;">）</span> |

(自由記入欄)
---------

問11 最後に、市民協働のまちづくりや市民協働指針の策定について、ご意見・ご提案がありましたら、ご記入ください。

--

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

---

匝瑳市

市民協働指針策定のための意識調査集計報告書（地域活動団体）

【平成 27 年 9 月】

発行日 平成 27 年 9 月

発行 匝瑳市

〒289-2198 千葉県匝瑳市八日市場ハ 793 番地 2

TEL 0479 (73) 0081

FAX 0479 (72) 1114

---